

# 次世代を切り開く 次世代施設園芸団地



トマト



木質バイオ

- ◆高軒高ハウスに養液栽培や統合環境制御装置をフル装備しトマトの周年安定生産技術で大規模実証。
- ◆隣接する農業担い手育成センターと連携し、団地での技術実証成果を意欲的な農業者に普及。



イメージ図



## コンソーシアム名及び構成員

名称	高知県次世代施設園芸団地推進協議会
構成員	(有)四万十みはら菜園、(株)ベストグロウ、四万十とまと(株)、(株)暁産業、四万十町森林組合、四万十農業協同組合、高知県園芸農業協同組合連合会、高知大学農学部、高知工科大学、四万十町、高知県(普及・試験・研修組織含む)等

概算総事業費	3,148,991 千円	品目	面積	目標収量(単収)
		トマト	4.3ha	1,591t(37t/10a)

区分	事業実施概要
拠点整備	① 高度環境制御栽培施設(1.5ha+1.4ha×2棟) ② 集出荷貯蔵施設 ③ 木質バイオマスボイラー ④ 種苗供給センター を整備
技術実証	① 統合環境制御(CO2発生装置、細霧装置等)による高品質多収周年安定生産技術の実証 ② 環境・生体情報モニタリング装置でデータを収集し、増収につなげる実証 等
その他取組	① 技術・経営セミナーによる技術習得 ② 実需者のニーズに合わせた安定出荷販売 等



高軒高ハウス(外観)



高軒高ハウス内(トマト)



木質バイオマスボイラー

# 「次世代施設園芸団地」・「農業担い手育成センター」の整備

## 次世代施設園芸団地の整備

- ◆高軒高ハウスでの統合環境制御による大規模実証成果を担い手育成センターの職員に情報提供することで、技術改善の取り組みが促進される。
- ◆環境制御機器などの専門家による技術研修に担い手育成センターの職員や研修生、農業者も参加し、学ぶことができる。
- ◆担い手育成センターで先進技術を学んだ研修生が雇用される。
- ◆大規模経営の成功モデルを示すことで、担い手育成センターの研修生や農業者の先進技術の導入意欲が高まる。

### 高品質・多収技術

- 統合環境制御技術による増収
  - ・炭酸ガス施用、温湿度管理、LED照明 等
- データ農業による飛躍的な増収



高軒高ハウス(トマトなど)



炭酸ガス施用装置

### 先進的なIPM技術

- 生物的防除技術の活用
  - ・土着天敵、微生物資材 等
- 物理的防除技術の活用
  - ・防虫ネット、防蛾灯 等



土着天敵

### 化石燃料からの転換

- 森林資源の活用
  - ・木質バイオマスボイラー
- 自然エネルギーの利用
  - ・太陽光蓄熱、発電



木質バイオマスボイラー

### 規模拡大による効率的な栽培・経営

- 施設の大型化・機械化・自動化
  - ・生産性、作業性の向上
- 経営管理の効率化
  - ・企業的経営によるコスト、労務管理



集出荷施設

## 連携

- 先進技術が県内各地に普及
- 先進技術を学んだ担い手が県内各地で就農

## 農業担い手育成センターの整備

- ◆コンソーシアムのメンバーとして担い手育成センターの職員が、培養液分析や環境データ解析などの技術支援を園芸団地の職員に対して行うことができる。
- ◆担い手育成センターが、外部講師を招いて実施する先進技術、経営セミナーに園芸団地の職員も参加し、学ぶことができる。
- ◆担い手育成センターの研修生を園芸団地の研修生または雇用就農者として送り出すことができる。
- ◆先進技術の実証成果を園芸団地に発信できる。

### 新規就農者の育成拠点

- 研修生の受入枠拡大(長期研修用宿泊施設建設 CLT工法)
- 研修内容の充実、強化(基本技術、先進技術、経営・流通研修)
- 研修終了後のスムーズな就農支援(産地とのマッチング)



研修用宿泊施設(CL T工法)



基礎技術を習得

### 先進技術の実証・普及拠点

- 先進技術や経営管理力の向上
  - ・先進技術実証
  - ・技術、経営セミナー開催
- 農業者の相互研鑽の場の充実(農業者の交流、情報交換)
- 技術指導者の育成(先進技術研修、セミナー開催)



高度な先進技術を実証



技術、経営セミナーの開催